

# アクセサリバー

NKF-510 (300,400, 600, 800, 1000, 1200, 1600)  
 NKF-520 (500×500,600×600,600×800)  
 NKF-530 (300,400, 600, 800, 1000, 1200, 1600)  
 NKF-540 (500×500,600×600,600×800)

商品の機能が100%発揮されるよう、  
 本説明書の内容を十分ご理解のうえ  
 正しく施工してください。

## ●商品図

NKF-510(300)/色, NKF-510(400)/色, NKF-510(600)/色, NKF-510(800)/色  
 NKF-530(300)/色, NKF-530(400)/色, NKF-530(600)/色, NKF-530(800)/色

フラットタイプはディンプル無し

品番	A寸法
NKF-510(300)/色	300
NKF-510(400)/色	400
NKF-510(600)/色	600
NKF-510(800)/色	800

品番	A寸法
NKF-530(300)/色	300
NKF-530(400)/色	400
NKF-530(600)/色	600
NKF-530(800)/色	800

NKF-510(1000)/色, NKF-530(1000)/色  
 NKF-510(1200)/色, NKF-530(1200)/色  
 NKF-510(1600)/色, NKF-530(1600)/色

フラットタイプはディンプル無し

品番	A寸法
NKF-510(1000)/色	1000
NKF-510(1200)/色	1200
NKF-510(1600)/色	1600

品番	A寸法
NKF-530(1000)/色	1000
NKF-530(1200)/色	1200
NKF-530(1600)/色	1600

NKF-520(500×500)/色, NKF-520(600×600)/色, NKF-520(600×800)/色  
 NKF-540(500×500)/色, NKF-540(600×600)/色, NKF-540(600×800)/色

フラットタイプはディンプル無し

品番	A寸法	B寸法
NKF-520(500×500)/色	500	500
NKF-520(600×600)/色	600	600
NKF-520(600×800)/色	800	600

品番	A寸法	B寸法
NKF-540(500×500)/色	500	500
NKF-540(600×600)/色	600	600
NKF-540(600×800)/色	800	600

※L、R共通仕様

## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 用語および記号の説明

- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ …… 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 🚫 …… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- 🔪 …… 「分解してはいけません！」
- 👉 …… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 注意

必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、商品が外れ、ケガをする恐れがあります。	👉 (指示)
強度のある壁または建築構造体に必ず取り付けてください。 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	👉 (指示)
タッピンねじを使用して乾式施工の壁に取り付ける場合は、タッピンねじ固定位置にねじ込み深さが30mm以上になるように取付木(補強木)を設けてください。 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガする恐れがあります。	👉 (指示)
AYボルトを使用の場合は、コンクリート層に確実に固定できる長さのAYボルトを用いてください。(推奨: AY-84) ※モルタル層などで固定すると十分な強度がでないため、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	👉 (指示)
浴室内の壁やタイル壁に施工する場合は、ブラケット取付部にシリコンコーキングしてください。また、施工後にねじまわりもシリコンコーキングしてください。 ※施工部材を伝わって壁裏に浸水する恐れがあります。	👉 (指示)
必ず同梱のタッピンねじ、または当社指定のAYボルトを使用してください。 ※手すりが外れたり、商品及び取付部の壁が破損し、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	👉 (指示)

## ⚠ 注意

各下地壁の場合の注意事項に留意し、十分な下地厚や補強があることを確認してください。 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	👉 (指示)
アクセサリバーにぶらさがらないでください。 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガする恐れがあります。	🚫 (禁止)
アクセサリバーに強い衝撃を与えないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	🚫 (禁止)
アクセサリバーに強い応力が加わった状態で取り付けないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。	🚫 (禁止)
取付完了後、手すりにガタつきのないことを確認してください。 ※手すりが外れたり、商品及び取付部の壁が破損し、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	👉 (指示)
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。	🔪 (分解禁止)
手すりは屋外や水没する場所に取り付けしないでください。	🚫 (禁止)

## ●施工前のご注意

- 浴槽内など水に浸かる恐れのある場所には取り付けしないでください。
- 商品は壁面に固定してご使用ください。
- 壁下地はAYボルトまたはタッピンねじが強固に締め付けられるようにしてください。
- 商品に強い応力が加わった状態でむりに取り付けしないでください。
- 落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。  
※取付けの下穴は、ねじ取付ピッチに対して±2.0mm以内であけてください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くように依頼してください。

### 〔乾式壁の場合〕

- 取付部材として同梱のタッピンねじを使用してください。
- ねじ込み深さが30mm以上になるように補強木を設けてください。  
※取付木(補強木)は柱または間柱に固定してください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。  
※付属のタッピンねじ長さは55mmです。

### 〔湿式壁の場合〕

- 取付部材として固定部位によって右表のようなAYボルト(別売)を使用してください。

固定部位	当社AYボルト	本数
エンドブラケット	AY-84	3
コーナブラケット	AY-84	2
中間ブラケット	AY-84	2

- 下地材はコンクリートとし、取付部の奥行は70mm以上(コンクリートの厚さは40mm以上)を確保してください。
- 壁仕上材(モルタル・モルタル+タイル等)の厚さは20mm以下としてください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木(補強材)を入れ、必要なねじ込み深さ(50mm以上)を確保してください。

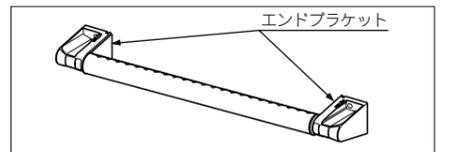
## ●施工方法

商品品番により取付手順が異なりますので、以下の手順に従って正しく取り付けてください。

### ●取付手順

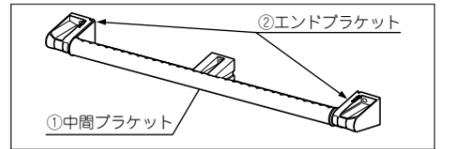
#### 〔NKF-510, 530(300, 400, 600, 800)の場合〕

- 2つのエンドブラケットを固定します。  
※下穴は予めあけておきます。



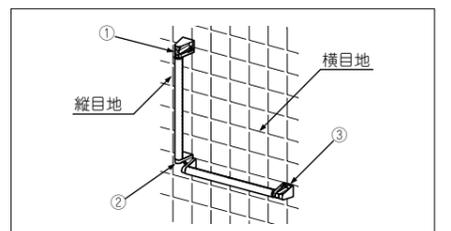
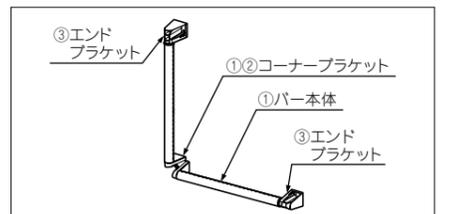
#### 〔NKF-510, 530(1000, 1200, 1600)の場合〕

- ①中間ブラケットを固定します。
- ②2つのエンドブラケットを固定します。  
※①②の下穴は、予めあけておきます。



#### 〔NKF-520, 540(500×500, 600×600, 600×800)の場合〕

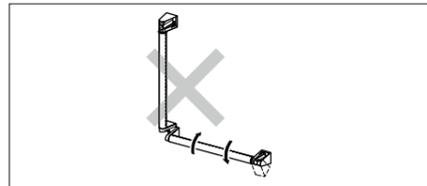
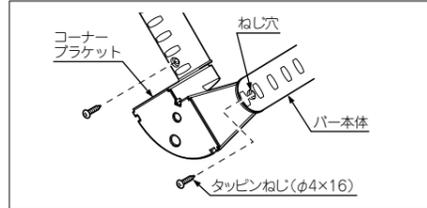
- ①バー本体とコーナブラケットを組み付けます。
- ②コーナブラケットを固定します。
- ③2つのエンドブラケットを固定します。  
※②③の下穴は、予めあけておきます。  
※水平・垂直に注意してください。  
※手すりの曲げ角度は完全な直角ではない場合があります。  
※タイルの目地にあわせて取り付け  
る場合には、まず3つの取付部のうち、取付部①と②をタイルの縦目地にあわせた後、残りの取付部③をタイルの横目地にあわせてください。



## ●各部位の取付け

### ●NKF-520、540(500×500、600×600、600×800)の接続部の組付け

- ※L型手すりには、まず以下の手順で組み付けてから壁に施工してください。
- ①バー本体とコーナーブラケットを組み付けます。
  - ②バー本体の組付け穴とコーナーブラケットの組付け穴の位置を合わせ、付属のねじで固定します。ねじ頭が飛び出さないところまで締付けてください。
- ※組付けには必ず付属の専用ねじ(φ4×16)を使用してください。
- ※エンドブラケットとコーナーブラケットにねじれがないかを確認してください。

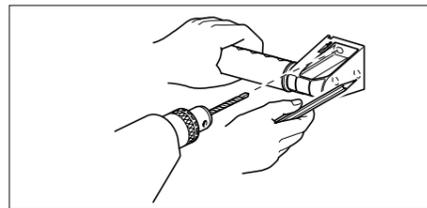


### 〔エンドブラケット、コーナーブラケットの固定〕

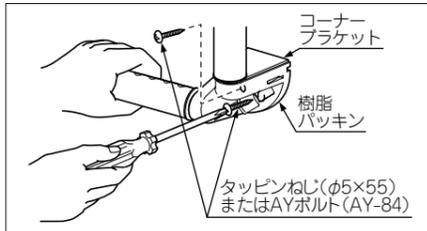
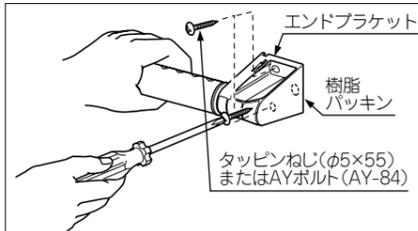
#### 1. エンドブラケットおよびコーナーブラケットの取付け

- ①アクセサリバーを取付面にあって、取付穴の位置にマジック等でしるしをつけてください。
- ②しるしを付けた位置に下表のとおり下穴をあけます。

	取付ねじ・ボルト	下寸法(穴径×深さ)	備考
乾式施工の場合	タッピンねじφ5×55	φ3.5×45mm	付属品
湿式施工の場合	AY-84(φ5×55AYボルト)	φ9×60mm	別売



- ③タッピンねじまたはAYボルトでエンドブラケットおよびコーナーブラケットを取り付けます。
- ※タッピンねじまたはAYボルトは、最後までしっかりとねじ込んでください。
- ※取付前に、壁面にゴミ等の付着がないよう、および樹脂パッキンのよれ等がないよう注意してください。

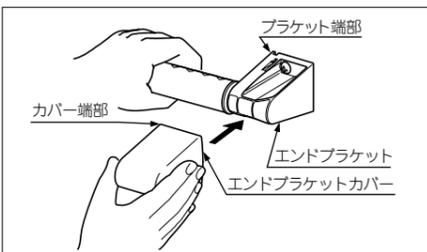


#### 2. ブラケットカバーの取付け

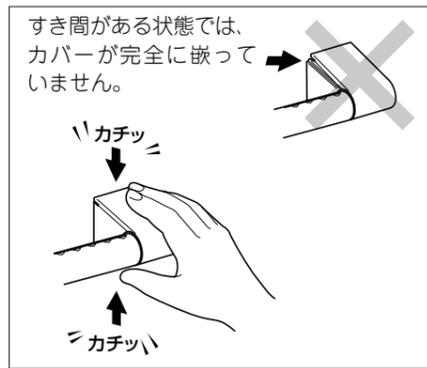
ブラケットの上からカバーをスライド挿入した後、「カチッ」と音がしてしっかりはまり込むよう両サイドから指で押さえてください。

※カバーを取り付ける前にバー本体にがたつきがないことを確認してください。

※カバーの挿入位置に注意してください。カバー端部をブラケット端部にあわせ、滑らせるように挿入して「カチッ」と手ごたえがあるまで押し込んでください。



※カバーを取り付けた後、手で引っ張ってみて、とれないことを確認してください。



※簡単に外れないことを最後にもう一度確認してください。

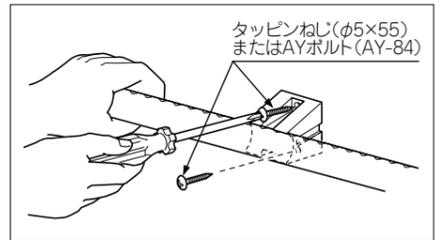
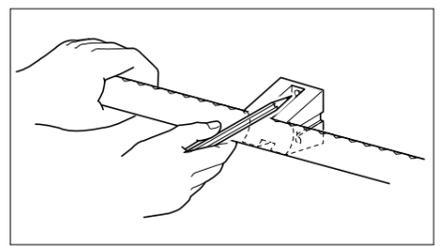
## 〔中間ブラケットの固定〕

### 1. 中間ブラケットの取付け

- ①アクセサリバーを取付面にあって、取付穴の位置にマジック等でしるしをつけてください。
- ②しるしを付けた位置に下表のとおり下穴をあけます。

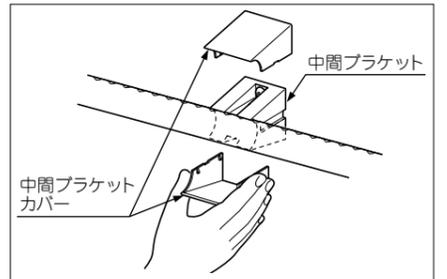
	取付ねじ・ボルト	下寸法(穴径×深さ)	備考
乾式施工の場合	タッピンねじφ5×55	φ3.5×45mm	付属品
湿式施工の場合	AY-84(φ5×55AYボルト)	φ9×60mm	別売

- ③タッピンねじまたはAYボルトで中間ブラケットを取り付けます。
- ※タッピンねじまたはAYボルトは、最後までしっかりとねじ込んでください。
- ※取付前に、壁面にゴミ等の付着がないよう、および樹脂パッキンのよれ等がないよう注意してください。
- ※取付時に工具が当たって手すりにキズをつけないようご注意ください。



### 2. 中間ブラケットカバーの取付け

- 中間ブラケットの上から、カバーを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- ※カバーを取り付ける前にバー本体にがたつきがないことを確認してください。
- ※カバーの挿入位置に注意してください。
- ※カバーは、「カチッ」と手ごたえがあるまで押し込んでください。
- ※カバーを取り付けた後、手で引っ張ってみてとれないことを確認してください。

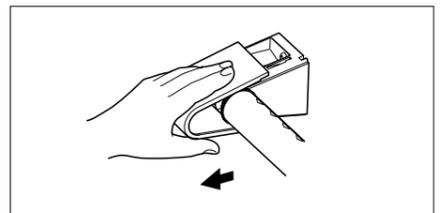
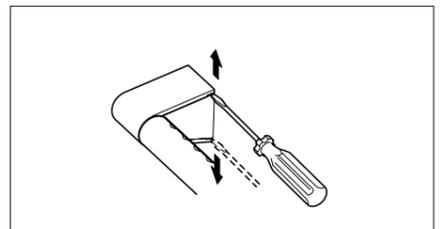


## ●ブラケットカバーの外し方

施工後、ブラケットカバーを外したい場合は、以下の手順で外せます。

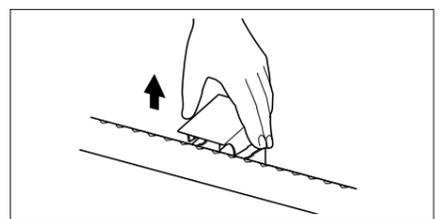
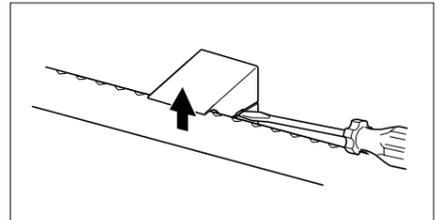
### 〔エンドブラケットカバー、コーナーブラケットカバーの外し方〕

1. ブラケットカバー隅の工具掛けにマイナスドライバー等の、工具掛けより小さい工具を差し込んでください。
2. 工具を差し込んだまま右図で示す方向に力をかけてください。
3. 左右の工具掛けについて上記の操作を行い、左右両方が外れましたら、カバーを挿入したときと逆の方向にカバーを引っ張ってください。コーナーブラケットカバーの場合は、コーナー外側の2ヶ所のみを工具で外せば、あとは手で引っ張るだけで外せます。



### 〔中間ブラケットカバーの外し方〕

1. ブラケットカバー勘合部の工具掛けにマイナスドライバー等の、工具掛けより小さい工具を差し込んでください。
2. 工具を差し込んだまま右図で示す方向に力をかけてください。
3. ブラケットカバーが持ち上がりましたら、今度は指でつまんで横向きに力をいれてカバーを外してください。



## ●施工後の注意

お手入れの方法等を記した同梱の注意タグは、必ず最終使用者の手元に渡るようにしてください。

※バー本体を包んでいるポリ袋はポリエチレン製ですので、燃やしても有害なガスはでません。

## 取扱説明書

### ●ご使用上の注意／アクセサリバー

●安全のために守ってください。

⚠ 注意	
手すりにぶらさがったり、上のにったり、手すり以外の用途に使用しないでください。 ※破損してケガをする恐れがあります。	(禁止)
固いものをぶついたり、強い衝撃をあてたりしないでください。 ※器具が破損したり、バリによりケガをする恐れがあります。	(禁止)
温風機、ドライヤー等で熱を直接あてないでください。 ※器具が変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	(禁止)
ブラケット部を持ったり、もたれ掛かたりしないでください。 ブラケットカバーが外れ、ケガをする恐れがあります。	(禁止)
出陣手すりは浴室など水掛りする場所には設置しないでください。 ※腐食や故障により破損し、ケガをする恐れがあります。	(禁止)
手すりや手が濡れていたり石けんがついているときは十分注意して使用ください。 ※手がすべり、転倒してケガをする恐れがあります。	(指示)

## ⚠ 注意

要介助の方が使用される時は、介助者は事故のないように注意してください。 ※手すりをつかみ損う等、転倒して事故につながる恐れがあります。	(指示)
手すりや壁面の間に手や腕をはさみ込まないようにしてください。 ※手や腕がはさまると、ケガをする恐れがあります。	(指示)
手すりがガタついたり、破損したままでの使用はしないでください。 ※外れたり、破損部位でケガをする恐れがあります。	(禁止)
直接日光が当たる場所では使用しないでください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。	(禁止)
毛髪剤、化粧品や除光液がついた場合は、すみやかにふき取ってください。 ※変色や変形の恐れがあります。	(指示)
<b>修理のご依頼は</b> お求めの取扱店または LIXIL修理受付センターまで TEL ☎0120-179-411 FAX ☎0120-179-456	
受付時間 9:00~20:00(365日受付) ホームページアドレス (http://www.lixil.co.jp/support/)	

## ●お手入れ

- 色落ちするタオル等を掛けしないでください。  
※色移りすることがあります。
- 汚れは、柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみこませた布でふき、そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布でふきとってください。
- 商品に傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。  
●熱湯 ●酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤  
●クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤  
●シンナー、ベンジン等の溶剤 ●たわし、硬いブラシ、硬い布
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐにタイルおよび商品を充分水洗いし、乾いた布で水分をふきとってください。  
※商品に傷める恐れがあります。

### 使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客様相談センターまで  
TEL ☎0120-179-400  
FAX ☎0120-179-430  
(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

受付時間  
平日 9:00~18:00  
土日・祝日 9:00~17:00

フリーダイヤルは、携帯電話、PHS、IP電話などご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。  
TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053